

科名 消化器科
 対象疾患 食道癌
 プロトコール名 オプジーボ(2週毎)+FP

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	…	16	…	29
1	点滴注	メイン	生理食塩液	1000mL		↓									
			5%ブドウ糖	1000mL	22時から10時 ※アリメバッグ										
			KCLキット	10mL											
2	点滴注	側管	オプジーボ	240mg	30分かけて	↓									
			生食	100mL	投与前後生食フラッシュ 9時から9時30分										
3	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	9時30分から10時	↓									
			アロカリス	235mg											
			デキサート注	9.9mg											
4	点滴注	側管	デキサート注	6.6mg	9時30分から10時	↓	↓	↓							
			生理食塩液	50mL											
5	点滴注	側管	シスプラチニ注	80mg/m ²	10時から12時	↓									
			生理食塩液	250mL											
6	点滴注	メイン	5FU	400mg/m ²		↓									
			生理食塩液	1000mL	10時から22時 ※アリメバッグ										
			5%ブドウ糖	1000mL											
			KCLキット	10mL											
7	点滴注	メイン	5FU	400mg/m ²		↓									
			生理食塩液	1000mL	22時から～10時 ※アリメバッグ										
			5%ブドウ糖	1000mL											
			KCLキット	10mL											
8	点滴注	メイン	5FU	800mg/m ²		↓	↓	↓	↓						
			生理食塩液	1000mL	10時から10時 ※アリメバッグ										
			5%ブドウ糖	1000mL											
			KCLキット	10mL											
9	点滴注	側管	マンニットールS	300mL	10時から12時	↓									
10	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓									
11	点滴注	側管	オプジーボ	240mg	30分かけて	↓									
			生食	100mL	投与前後生食フラッシュ										

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

<オプジーボ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が起こる恐れがあるので併用には注意すること。